

固定資産評価審査委員会 会議録

日 時 平成30年2月14日（水）午前10時～11時
場 所 本庁舎2階会議室

出席者 依田章委員長・芦澤勲職務代理者・神田正治委員
永井税務課長・中澤資産税担当リーダー
齋藤財務課長・依田・橋本

以上8名

協議事項

- (1) 固定資産の価格に係る不服審査について
- (2) 平成30年評価替えについて
- (3) その他

質問・意見等

1号議案及び2号議案を中澤資産税担当リーダーが資料に沿って説明

A 委員：バブル崩壊後、地下が下がり続けているのに資産税が上がる場合がある
（負担調整にて）それをわかりやすく説明する必要がある。

B 委員：路線価にすると税金は上がりますか、下がりますか。
⇒主要道路に面しているところ以外は若干下がる見込み。奥まった箇所や地形が悪い箇所は補正がかかりやすくなる見込み。
複数の路線に囲まれた土地は使い勝手が良いので上がる。

A 委員：路線価率は全体の何%ぐらいか。
⇒割合はわかりませんが、戸川より北の増穂地区の平坦地は粗全域、
中山間地域と鰯沢地区はまだである。

A 委員：相続されていない土地の対応は。
⇒調査をして義務者変更をしています。法務局でもなかなか所有権移
転の登記を受け付けてくれない。

A 委員：リニアができればどうなるのか
⇒おそらく下がるのが想定される。

C 委員：外国人による土地の買い占めは本町でもみられるか。
⇒それはないが、太陽光発電を行うために転用を行う箇所があった。

以上